

『妊娠高血圧症候群の診療指針 2015』 正誤表

『妊娠高血圧症候群の診療指針2015』（2015年4月1日 第2版第1刷～2015年7月20日 第2版第3刷）に誤りがございました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2016年5月16日 メジカルビュー社編集部)

訂正箇所	p134 「CQ10 腎疾患合併妊娠の周産期予後に及ぼす影響は？」 推奨部分
誤	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非妊娠時の透析条件では胎児死亡，新生児死亡率が高いとされている。(グレードB) 2. 透析回数を増加させることにより生児を得る出産例が増加してきている。(グレードB) 3. 透析時間 20 時間/週以上，透析前 BUN 値 50mg/dl 未満を目標にして管理する。(グレードB)
正	<p>予後は腎障害の重症度と高血圧の有無，降圧薬の効果，加重型妊娠高血圧腎症の発症の有無による。軽症はほとんど問題なく経過するが，中等～重症例では高血圧合併，妊娠高血圧腎症，貧血，胎児発育不全，早産が増加する。(グレードB)</p>